作業環境評価基準

昭和63年9月1日労働省告示第79号 最終改正：令和2年4月22日 厚生労働省告示第192号 令和3年4月1日施行

	物の種類	管理濃度
1	土石、岩石、鉱物、金属又は炭素の粉じん	次の式により算定される値 E=3.0/(1.19Q+1) E 管理濃度(単位 mg/m ³) Q 当該粉じんの遊離けい酸含有率(単位%)
2	アクリルアミド	0.1mg/m ³
3	アクリロニトリル	2ppm
4	アルキル水銀化合物 (アルキル基がメチル基又はエチル基である物に限る。)	水銀として0.01mg/m ³
4の2	エチルベンゼン	20ppm
5	エチレンイミン	0.05ppm
6	エチレンオキシド	1ppm
7	塩化ビニル	2ppm
8	塩素	0.5ppm
9	塩素化ビフェニル(別名PCB)	0.01mg/m ³
9の2	オルト-トルイジン	1ppm
9の3	オルト-フタロジニトリル	0.01mg/m ³
10	カドミウム及びその化合物	カドミウムとして0.05mg/m ³
11	クロム酸及びその塩	クロムとして0.05mg/m ³
11の2	クロロホルム	3ppm
12	五酸化バナジウム	バナジウムとして0.03mg/m ³
12の2	コバルト及び無機化合物	コバルトとして0.02mg/m ³
13	コールタール	ベンゼン可溶性成分として0.2mg/m ³
13の2	酸化プロピレン	2ppm
13の3	三酸化ニアンチモン	アンチモンとして0.1mg/m ³
14	シアン化カリウム	シアンとして3mg/m ³
15	シアン化水素	3ppm
16	シアン化ナトリウム	シアンとして3mg/m ³
16の2	四塩化炭素	5ppm
16の3	1・4-ジオキサン	10ppm
16の4	1・2-ジクロロエタン(別名二塩化エチレン)	10ppm
17	3・3'-ジクロロ-4・4'-ジアミノジフェニルメタン	0.005mg/m ³
17の2	1・2-ジクロロプロパン	1ppm
17の3	ジクロロメタン(別名二塩化メチレン)	50ppm
17の4	ジメチル-2・2-ジクロロビニルホスフェイト(別名DDVP)	0.1mg/m ³
17の5	1・1-ジメチルヒドラジン	0.01ppm
18	臭化メチル	1ppm
19	重クロム酸及びその塩	クロムとして0.05mg/m ³
20	水銀及びその無機化合物(硫化水銀を除く。)	水銀として0.025mg/m ³
20の2	スチレン	20ppm
20の3	1・1・2・2-テトラクロロエタン(別名四塩化アセチレン)	1ppm
20の4	テトラクロロエチレン(別名パークロルエチレン)	25ppm
20の5	トリクロロエチレン	10ppm
21	トルエンジイソシアネート	0.005ppm
21の2	ナフタレン	10ppm
21の3	ニッケル化合物 (ニッケルカルボニルを除き、粉状の物に限る。)	ニッケルとして0.1mg/m ³
22	ニッケルカルボニル	0.001ppm
23	ニトログリコール	0.05ppm
24	パラ-ニトロクロルベンゼン	0.6mg/m ³
24の2	砒(ひ)素及びその化合物 (アルシン及び砒(ひ)化ガリウムを除く。)	砒(ひ)素として0.003mg/m ³

	物の種類	管理濃度
25	弗(ふつ)化水素	0.5ppm
26	ベータ-プロピオラクトン	0.5ppm
27	ベリリウム及びその化合物	ベリリウムとして0.001mg/m ³
28	ベンゼン	1ppm
28の2	ベンゾトリクロリド	0.05ppm
29	ベンタクロルフェノール(別名PCP) 及びそのナトリウム塩	ベンタクロルフェノールとして 0.5mg/m ³
29の2	ホルムアルデヒド	0.1ppm
30	マンガン及びその化合物	マンガンとして0.05mg/m ³
30の2	メチルイソブチルケトン	20ppm
31	沃(よう)化メチル	2ppm
31の2	リフラクトリーセラミックファイバー	5μm以上の繊維として0.3本/cm ³
32	硫化水素	1ppm
33	硫酸ジメチル	0.1ppm
33の2	石綿	5μm以上の繊維として0.15本/cm ³
34	鉛及びその化合物	鉛として0.05mg/m ³
35	アセトン	500ppm
36	イソブチルアルコール	50ppm
37	イソプロピルアルコール	200ppm
38	イソペンチルアルコール(別名イソアミルアルコール)	100ppm
39	エチルエーテル	400ppm
40	エチレングリコール モノエチルエーテル(別名セロソルブ)	5ppm
41	エチレングリコール モノエチルエーテルアセテート(別名セロソルブアセテート)	5ppm
42	エチレングリコール モノノルマル-ブチルエーテル(別名ブチルセロソルブ)	25ppm
43	エチレングリコール モノメチルエーテル(別名メチルセロソルブ)	0.1ppm
44	オルト-ジクロロベンゼン	25ppm
45	キシレン	50ppm
46	クレゾール	5ppm
47	クロロベンゼン	10ppm
48	酢酸イソブチル	150ppm
49	酢酸イソプロピル	100ppm
50	酢酸イソペンチル(別名酢酸イソアミル)	50ppm
51	酢酸エチル	200ppm
52	酢酸ノルマル-ブチル	150ppm
53	酢酸ノルマル-プロピル	200ppm
54	酢酸ノルマル-ベンチル (別名酢酸ノルマル-アミル)	50ppm
55	酢酸メチル	200ppm
56	シクロヘキサノール	25ppm
57	シクロヘキサノン	20ppm
58	1・2-ジクロルエチレン (別名二塩化アセチレン)	150ppm
59	N・N-ジメチルホルムアミド	10ppm
60	テトラヒドロフラン	50ppm
61	1・1・1-トリクロルエタン	200ppm
62	トルエン	20ppm

	物の種類	管理濃度
63	二硫化炭素	1ppm
64	ノルマルヘキサン	40ppm
65	1-ブタノール	25ppm
66	2-ブタノール	100ppm
67	メタノール	200ppm
68	メチルエチルケトン	200ppm
69	メチルシクロヘキサノール	50ppm
70	メチルシクロヘキサノン	50ppm
71	メチル-ノルマル-ブチルケトン	5ppm
—	アルファ-ナフチルアミンおよびその塩	—
—	インジウム化合物	—
—	オーラミン	—
—	オルト-トリジンおよびその塩	—
—	クロロメチルメチルエーテル	—
—	ジアニシジンおよびその塩	—
—	ジクロルベンジジンおよびその塩	—
—	バラ-ジメチルアミノアゾベンゼン	—
—	マゼンタ	—
備考 この表の右欄の値は、温度25度、1気圧の空気中における濃度を示す。		

(注) 表に掲げる管理濃度とは、作業環境評価基準(昭和63年労働省告示第79号)の別表に掲げる管理濃度及び労働安全衛生法第28条第3項の規定に基づき厚生労働大臣が定める化学物質による健康障害を防止するための指針に基づき作業環境の測定の結果を評価するために使用する評価指標をいう。

作業環境評価基準 個人サンプリング法

個人サンプリング法の測定対象

令和2年1月27日付「作業環境測定基準」改正により、個人サンプリング法が追加されました。個人サンプリング法は、下記の①、②の測定が対象となります。

- ①低管理濃度特定化学物質及び鉛を取り扱う作業に係る場所における測定
- ②有機溶剤等に係る測定のうち、塗装作業等有機溶剤等の発生源の場所が一定しない作業が行われる場所で行われる測定

低管理濃度特定化学物質及び鉛 管理濃度

	物の種類	管理濃度
1	ベリリウム及びその化合物	ベリリウムとして0.001mg/m ³
2	インジウム化合物	—
3	オルト-フタロジニトリル	0.01mg/m ³
4	カドミウム及びその化合物	カドミウムとして0.05mg/m ³
5	クロム酸及びその塩	クロムとして0.05mg/m ³
6	五酸化バナジウム	バナジウムとして0.03mg/m ³
7	コバルト及びその無機化合物	コバルトとして0.02mg/m ³
8	3,3'-ジクロロ-4,4'-ジアミノフェニルメタン	0.005mg/m ³
9	重クロム酸及びその塩	クロムとして0.05mg/m ³
10	水銀及びその無機化合物(硫化水銀を除く。)	水銀として0.025mg/m ³
11	トリレンジイソシアネート	0.005ppm
12	砒素及びその化合物(アルシン及び砒化ガリウムを除く。)	砒素として0.003mg/m ³
13	マンガン及びその化合物	マンガンとして0.05mg/m ³
14	鉛及びその化合物	鉛として0.05mg/m ³

備考:この表の右欄の値は、温度25度、1気圧の空気における濃度を示す。

(注) 個人サンプリング法の測定対象となる作業場では、個人サンプリング法(C,D測定)又は、従来法(A,B測定)のいずれかを選択することとなっております。法令上はどちらの方法を選択しても良いが、どちらの方法が作業環境の実態をより適切に評価できるかの観点から選ぶことが望ましいとされております。